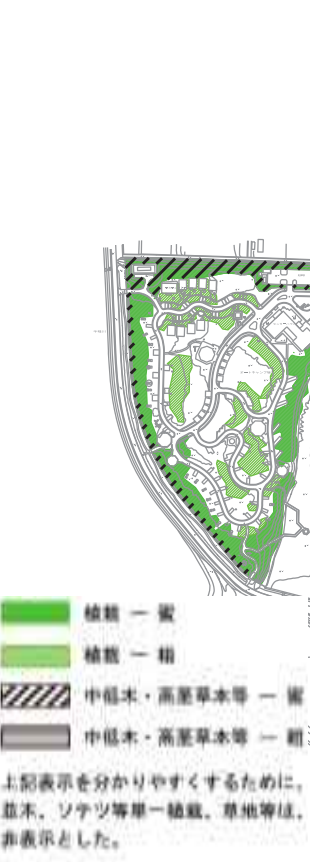


目標像 空間・利活用を隔てている植栽を連続性のある明るい緑へ。

現況 ・高木密度が高く、うっそうとしている。
 ・中低木等による遮蔽感が強い。
 ・かつて存在した塩性植物が見られない。

※地点1~10で樹木密度調査を実施



改善方針案

- ・樹木の管理方針を整理して見通しの良い樹林へと導き、各空間の連続性を高める。
- ・木陰での休憩やプレーパーク等、林内活動が出来る空間を確保する。
- ・塩性植物が生育できる基盤整備を行う。

- ・高木は場所毎の特性や現況に合わせて目標密度を設定する。
- ・林内を遮蔽する中低木類を撤去し、散策や休憩等のための空間を生み出す。
- ・林内の面的活用を可能にするため、高茎草本などの適切な管理を行う。
- ・塩性植物が生育できる基盤整備を行う。

■ ヤシ並木の強調	■ 生育基盤の形成
■ 林内を遮蔽する中低木の伐採	■ 危険木の伐採
■ 林内を遮蔽する高木・中低木の伐採	

広場空間
 木陰の休憩空間、防災機能に資する活動スペース空間となる開放的な樹林空間を形成する。

活動イメージに応じた高中低木の伐採等整理

公園文化軸・ロードサイド空間
 隣接する多様な空間が资格的に連続し、園路のシークエンスとなる樹林構成への改善を図る。

沿道(広場と園路の間)の中低木の伐採等整理

湖の際
 伸びやかな芝生や砂浜による湖際の景観を維持する。赤湖の湿地環境では塩性植物の保全育成を図る。

生育基盤の確保

みどりの展望帯
 海への眺望を阻害しない樹林構成にし、海沿いのレクリエーション空間を形成する。

中低木の整理

